



ヤマネといきもの保全のための 自動販売機設置のご提案

人知れず生きる、小さな仲間を救え！

ヤマネと森と田んぼのいきもの応援プロジェクト



わたしたちは、**ヤマネと身近ないきものを大切にしたい**と思っています。

ヤマネは、体重が約18グラムと小さくて、かわいい日本特産の動物です。枝をついたながら森の花や昆虫を食べて暮らしています。約500万年前から生きてきた日本列島最古参のいきもので、天然記念物です。そして半年間、体温を約0°Cに下げ、何も食べずに“ぐ～す～”と眠る冬眠の名人であります。しかし、今、開発・地球温暖化が進んだ結果森が縮小し、ヤマネや他のいきものから「SOS」が出されています。私たちは、森の代表種であるヤマネの保護を通して、森林環境、人の暮らしと地球の未来を大切にしたいと思っています。



「ヤマネを守ることは、森を守り、
みんなを守り、未来も守る」ことにつながります。

田んぼや森に暮らす、身近でふつうのいきものは、各地域の生態系の基盤と中核を担っています。担い手がいなくなったら生態系は崩れ、その恩恵を受けている人の暮らしも大きな影響を受けます。また、いきものたちは、教育的役割をもっています。例えば、子どもたちはシオカラトンボなどのいきものと接することで、感受性と好奇心そして科学する心が育ちます。いきものたちは、まるで「自然の先生」です。



いきもの生態系ピラミッド



SDGs（持続可能な開発目標）への貢献

寄付型自動販売機を設置し、飲料を販売し、その売り上げの一部を寄付していただくことで、SDGsへの取り組みに参画することになります。お預かりする寄付金は、ヤマネと身近ないきものの生態系を守り、未来を受け継ぐ子どもたちを育てる活動に用いられることで、SDGs達成の推進に活用いたします。



皆様の自動販売機の設置・飲料販売によるご協力は、
一般社団法人ヤマネ・いきもの研究所の大きな力となります。
どうぞご支援よろしくお願い致します。

